

移動

とことば2

川上郁雄・三宅和子・岩崎典子 編

現代のわれわれは個別性の強い流動的な現実を生きている。本書は、個々人の生活や生のあり方に焦点を定め、その動態を描いた研究論集である。「科学的」に数量化して見ることを前提とした20世紀的発想に挑戦する、まさに革新的な書である。

真田信治 (大阪大学名誉教授)

どこから読んでも
どれを読んでも
本当に面白い

第1章 (Laura Sae Miyake Mark・三宅和子) ……英国の国際結婚家庭で生まれた娘が幼少期に日本に移動し、名前の表記と身体的特徴から学校で「ハーフ」と呼ばれ葛藤し、12歳の時、単身で渡英し、英国で生活する中で名前を英語名にした経験、その過程で感じた自己の複層性と自己表象への思い、周りとの折り合いをつけながらどう生きるか〜母の視点と娘の視点を交差させながら「移動とことば」と「帰属感」の関係を論じる。

第2章 (尾辻恵美) ……アメリカで生まれ、幼少期にスコットランド・エジンバラで過ごした経験のある尾辻が日本で教育を受けた後、シンガポール、オーストラリアへと移動し、グローバル社会に生きる人の経験と言語と行為の関係性を主題とする研究で学位を得た自身の経験を振り返りつつ、その後の研究テーマの変遷を語ることによって、人と言語と場所、モノの集合体を捉えるようになった問題意識を語る。

第3章 (半嶺まどか) ……石垣島で生まれた半嶺が沖縄、東京、米国からスコットランド、フィンランドへ移動する間に、危機言語に関心を寄せ、石垣島のことばの再活性化という課題に取り組むようになった半生を辿りながら、危機に瀕することばに対する人々の思いと半嶺自身の経験と記憶をオートエスノグラフィとして語る。石垣島というロケーション、さらに半嶺の家族の複数世代の時間性の中で、「移動とことば」の意味を問う。

第4章 (岩崎典子) ……スロバキア出身の女性を取り上げる。彼女は幼少期からチェコとスロバキアを行き来し、成長してオーストリアや米国に留学した経験があった。さらに日本語と言語学を専攻するためにロンドンの大学に進学し、日本留学を2度経験した。これらの空間やことばの移動の経験を重ねた女性が自分自身の「移動とことば」をどう捉えたか、言語レパートリーはどのように変容したかを分析する。

第5章 (南誠) ……中国生まれで中国帰国者三世の南が中学生の時に来日し、その後、日本語を学び、大学、大学院へ進学し、中国帰国者をテーマにした博士論文を書いた、その半生を、オートエスノグラフィを通じて記述しながら、中国帰国者研究という当事者研究を行う自身をどう記述するのかという思いと葛藤を論じる。「移動とことば」から、誰をどのようにカテゴライズするのかという課題の意味を探究する。

第6章 (リーベレス・ファビオ) ……韓国人の父とメキシコ人の母のもと韓国で生まれた著者が日本、マレーシア、韓国などを移動しながら成長し、米国、カナダ、メキシコを経て、日本の大学で博士号を取得するまでの半生を語りながら、自己認識と他者との関係性がどのように変化したかを論じた。さらに、調査する側と調査される側双方の体験から、「移動する子ども」の経験をどう語るのかという研究方法論の課題を提示した。

第7章 (辻晶) ……ドイツ人の父と日本人の母のもと、ドイツで生まれた辻が、オランダ、米国、フランス、日本へと移動した経験と、使用する言語(ドイツ語、日本語、オランダ語、フランス語、英語)への思いを語りつつ、新生児の言語習得のメカニズムを探究する心理言語学者となった半生を語りながら、英語で書く意味を考えた論考である。その結果、本稿は英語で綴られた。

第8章 (川口幸大・津川千加子) ……関西で生まれた川口と津川が仙台の東北大学に入学してから「関西人」を意識するようになった経験と、その後、文化人類学者として、川口は中国で、津川はメキシコ、南米でフィールドワークをしたが、その移動の経験と中国語、スペイン語から二人にとっての関西方言と、アイデンティティについての思いを、往復書簡の形で語り、「移動とことば」を考察した。

第9章 (川上郁雄) ……フランス系アメリカ人の父と日本人の母のもとで生まれ、横浜で成長し、やがて芥川賞作家となり、慶應義塾大学文学部の教授としてフランス文学を講じる荻野アンナさんへのインタビューをもとに、語られたライフストーリーから彼女の文学世界を探究した。幼少期より複数言語環境で成長した経験と記憶、そして「移動する家族」の系譜が、どのように文学世界を構築するか、新たな文学作家論を提示した。

ご注文は、全国の書店、インターネット書店で

書名	定価	注文数
移動とことば2 川上郁雄・三宅和子・岩崎典子 [編] ISBN: 978-4-87424-896-6	3,520 円(3200 円+税) *送料別途	冊

お名前		電話番号	
ご住所	〒		